



令和6年度を振り返って

6月 自然いっぱい五郎助山 館野 敏子 記者

自然豊かで、季節の変化を感じながら子どもも大人も楽しめる五郎助山の魅力が一人でも多くの人に伝わっていたらうれしいです。子どもの笑顔を大切に、自然の中での体験を未来に繋げていくために、素晴らしい環境を整えてくれる里山を守る会のみなさんの活動に感謝したいです。



令和6年度市民記者のみなさん

7月 にじのきらめき 島田 敏 記者

市が日本一の産地である新品種のお米「にじのきらめき」を取材しました。作付け面積は年々増えているそうで、今後の商品展開が楽しみです。

また、取材がきっかけで、JA北つくばのみなさんが先生となり明野五葉学園でお米の出前授業が実現したこともうれしい出来事でした。

8月 筑西ファミリーサポートセンターまんな 大泊 知子 記者

子育て中にほしかったサービスが実現されていて羨ましく思いました。当時このような支援があったら、もう一人子どもを産んでいたかもしれない。だからこそ認知度が低く利用者が少ないのはもったいなく感じます。今後も子育て世代がより楽しく育児ができる活動を応援したいです。

9月 魅力あふれるバラの世界 廣澤 裕子 記者

バラの魅力を発信し、新たな挑戦を続けるパワの源は同じ趣味を持つ仲間との絆と語る素敵な笑顔が印象的でした。今年度から市民記者となり、活動を通じて知らなかった世界を知ること、多くの刺激がありました。これからも魅力を発信できるようがんばります。

10月 定林寺の銅鐘 和田 恵子 記者

江戸時代から現代まで、人々の心の拠り所として大切に守られてきた定林寺の銅鐘を紹介しました。取材をとおして、先人たちが守り継いできた歴史的遺産の重要性を改めて実感しています。これからも市の歴史や文化財の価値と魅力を紹介し、郷土の文化継承に貢献していきたいです。

11月 下館ライオンズクラブ 中島 英雄 記者

世界200もの国に展開するボランティア団体、ライオンズクラブを取材しました。会長の「一人ではできないこともみんなでやればできる」という言葉がとても印象的でした。来年度以降も、一人ではなく記者仲間と協力し、よりよい活動をしていきたいと思っています。

12月 地域の人財輝く学校支援ボランティア 古井 陽子 記者

初めて会議に参加した時、いつも何気なく読んでいたPeopleが、たくさんさんの想いで作られていたことに感動しました。記者仲間とともに仕上げた記事を「読んだよ！」と声をかけてもらえたときの達成感はひとしおです。次年度も地域の魅力を発掘して多くの人に楽しんでもらいたいです。

1月 筑西ふるさとカルタ 小島 正美 記者

筑西の魅力が詰まった筑西ふるさとカルタについて紹介しました。市内全域について知ることができ、解説や地図が付いているため実際に訪れることもできる素晴らしいカルタだと思います。市誕生20周年ということもあり記事にできて良かったと感じています。

2月 筑西BlueExpo 篠崎 栄一 記者

市民記者の一年生として、一年間無事にやりきったことにまずホッとしています。市民記者の活動を通じて、筑西市の新しい魅力をたくさん知ることができて楽しかったです。来年度も市民のみなさんが市民記者のページを楽しみにしてくれるようにがんばります。